新潟県中学校教育研究会　「教師の学び」に関する重点

先生方の「深い学び合い」から、

①「深い学びにいたる授業」を通して、育成したい生徒の姿の検討

資質・能力との関連から生徒の姿を具体的に検討する



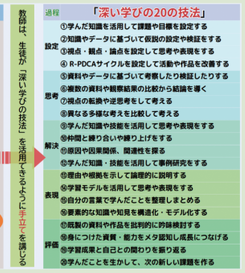
- ☑ この授業で何を深く理解させたいか
- ☑ どの知識・技能を関連付けさせたいか
- ☑ どんな場面で資質・能力を発揮させたいか
- ☑ 他の授業や生活でも活用できる姿を描けているか



先行事例の指導案、学習指導要領、生成AIなどの活用

「深い学びの技法」を基に構成する学習過程に着目した手立てを検討する





生徒が「深い学びの技法」を活用できるような手立てを構想
※詳細は次ページの「深い学びにいたる授業」を参照



①目指す生徒の姿・手立ての検討

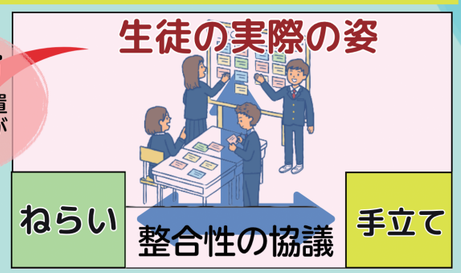


深い学

②生徒の実際の姿を基に、ねらいや手立ての整合性の協議

生徒の実際の姿を基に、ねらいや手立ての整合性を協議する

授業の見方
授業参観の立ち位置で、生徒の見取りが大きく変わる





②授業実践の積み重ね


後方から参観

○授業全体の様子を見取りやすい
▲生徒の反応や変容が見取りにくい


横から参観

○教師の働きかけに対する生徒の反応や変容を見取りやすい
▲立つ位置によって、一部の生徒の様子が見取りにくい


同じ生徒・グループの参観

○生徒の思考などの一連の過程を見取りやすい
▲観察する生徒の様子だけの見取りになり、他の生徒の様子との比較がしにくい

生徒の実際の姿を見取る視点（例）

生徒の実際の姿を見取る視点	具体的な観察内容
指導案で予想された反応	予想された反応が見られるか
つまずきの理由	どこで、なぜつまずいているか
ねらいに迫る様相	ねらいに迫る姿が見られるか
思考の一連の過程	どのように思考が変化しているか
関わり合い	関わりによって考えなどがどのように変化したか

新潟県中学校教育研究会

ホームページをぜひご活用ください



- ☑ スマホ、タブレット画面にも対応しています。
- ☑ 「授業づくり」のコーナーでは、新学習指導要領に関する情報も掲載しています。

【URL&QRコード】
https://niigata-chukyoken.jp/

新潟県中学校教育研究会

【令和8年度】

会　長　長谷川　裕高（新発田市立第一中学校 校長）
副会長　保坂　修（上越市立城西中学校 校長）
副会長　玉木　暢（長岡市立東中学校 校長）
理事長　鈴木　善士（新潟市立木戸中学校 校長）

新潟県中学校教員を会員とする教育研究団体です。昭和38年に発足し、令和5年に創設60周年を迎えました。

県下に19の郡市中教研を置き、15の教科・領域部会によって研究を推進する組織です。毎年のべ18～20の郡市に、教科・領域を指定し、2年間の「指定研究」を行っています。

授業情報誌　第11号

Class・深い学びにいたる授業

発 行 日　令和8年10月1日

発 行 者　新潟県中学校教育研究会 事務局
〒950-0088 新潟市中央区万代1-3-30
万代シテイホテルビル
（万代シルバーホテル）3階

TEL・FAX 025-290-2251
E-mail ken-ckk@niigata-inet.or.jp

印　刷　有限会社東京プリント社
表紙・デザイン・イラスト　上村　慎吾（県中教研事務局長）

ISSN 2189-8111